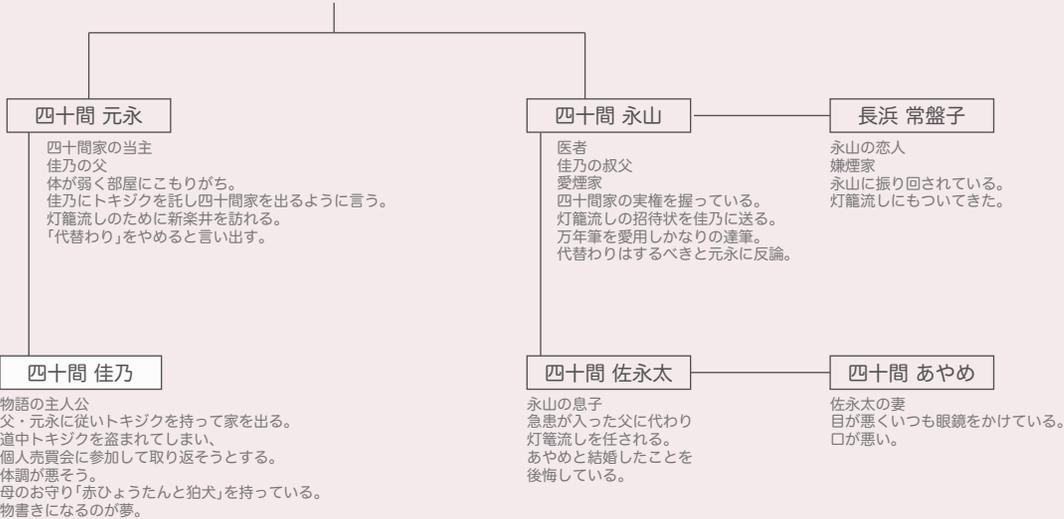


四十間家

不老の研究のため賢木家から代々トキジクを譲り受けてきた。
100年に一度、灯籠流しをして100年生きた人を送り、
桜が咲いたら新しい当主を決める(代わり)という儀式がある。



四十間 元永

四十間家の当主
佳乃の父
体が弱く部屋にこもりがち。
佳乃にトキジクを託し四十間家を出るように言う。
灯籠流しのために新築井を訪れる。
「代わり」をやめると言い出す。

四十間 佳乃

物語の主人公
父・元永に従いトキジクを持って家を出る。
道中トキジクを盗まれてしまい、
個人売買会に参加して取り返そうとする。
体調が悪そう。
母のお守り「赤ひょうたん」と狛犬を持っている。
物書きになるのが夢。

四十間 永山

医者
佳乃の叔父
愛煙家
四十間家の実権を握っている。
灯籠流しの招待状を佳乃に送る。
万年筆を愛用しかなりの達筆。
代わりはするべきと元永に反論。

長浜 常盤子

永山の恋人
嫌煙家
永山に振り回されている。
灯籠流しにもついできた。

四十間 佐永太

永山の息子
急患が入った父に代わり
灯籠流しを任せられる。
あやめと結婚したことを
後悔している。

四十間 あやめ

佐永太の妻
目が悪くいつも眼鏡をかけている。
口が悪い。

賢木家

神事をつかさどる一族。
トキジクのなる木を所有しており代々四十間家に無償で渡していた。
四十間家がトキジクを奪うために焼き討ちにして
滅ぼしたと言われている。

久坂 如水

せつの紹介で個人売買会に来た。
トキジクを狙って佳乃と手を組む。
個人売買会では「竜の血」を出品。
自分のトキジクをひとつ持っていて
「私は不老」と言う謎の人物。
佳乃に付き添って新築井にも来る。
なぜか元永と知り合いの様子。

陣場 みさを

旅館「新築井」の女将。
佳乃と如水を部屋に案内する。

個人売買会参加者

後藤 銀作

個人売買会の主催者
せつに弱い。
「生きる木乃伊」を所有している。

庄田 せつ

銀作の恋人。
怪奇小説蒐集家。
トキジクを出品。
他の出品物に傷をつけて価値を下げようと企む。

古富谷 きぬ

骨董屋

南 将憲

医学者。
「平将門の刀」を出品。